

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学終了報告書

留学プログラム名	派遣交換留学		
所属(本学)	工学部 経営システム工学科		
現在の学年	学部4年		
留学先国	ベルギー	留学先大学	アントワープ大学
留学期間	2014年9月18日～ 2015年7月1日		

① 留学先大学の概略

ベルギーの第三都市であるアントワープにある総合大学
理工系だけではなく、幅広い学問を学ぶことができる。
日本語学部もあり、日本語を学んでいる現地の学生もいる。

② 留学前の準備

>ビザ

かなり集める書類が多く大変です。すぐに取り掛かることをおすすめします。

>語学

留学を楽しむためにはスピーキングのスキルが必須だと思います。
僕の場合は1ヶ月のフィリピン留学とオンライン英会話を使って日本でも準備していました。

>就職活動

学部3年から留学に行く場合はその前にサマーインターンを受けておくことをおすすめします。
うまくいけば、そこで内定をもらうこともできます。

③ 留学中の勉学・研究

ビジネスの科目を多く取った。アントワープ大学では、Economics and Business の学部に入れてもらえたので、普段東工大では学べない授業が多くあり、楽しく学習できた。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

>旅行

旅行はかなり幅広く出かけることができた。ヨーロッパは貧乏旅行であればお互いの距離も近いため、かなり安価に行うことができる。
とくにベルギーは西ヨーロッパの中心であり、地の利を得ることが多かった。
国としては、フランス、ドイツ、オランダ、スペイン、イタリア、イギリス、アイスランド、ハンガリー、リトアニア、エストニア、ラトビア、チェコ、オーストリア、スロバキア、モナコ、バチカン市国など本当に幅広く旅を楽しめた。

>スポーツ

街並みがきれいで、川や公園があったために、よくランニングをした。そのほかには学校主催のスポーツ大会(バスケットボールやバレー)などに多く参加した。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

自分で動く力

留学に行くと、すべて自分で動かないといけません。周りの人と同じにしとけばいいやー！とはなりません。とくにヨーロッパに行くと、周りの留学生は8割以上 EU 内プログラムである Erasmus というプログラムできており、日本からのような Exchange プログラムで来ている人は少数派です。なので、手続きもすべて違いますし、周りについていけなくて、しっかり自分はどうすべきなのかを常に考え、確認を取ることが何より大事でした。
また、僕の場合は着いた時には、まだ住居も決まっていなかった状況でしたから、本当に大変でした。現地で住居を見つけるための方法を聞きまわったりなど、とにかく自分から動くクセがつかまりました。

留学を楽しむコツ

留学を楽しむためにも自分から動くことが大切です。楽しかった本当に数多くの旅行も自分が飛行機や現地の状況を調べ、そのプランに行きたい友達を誘うという形が一番てっとり早いと思います。もちろん外人との旅行がほとんどでしたが、プランを決めるとあとは誘うのは比較的簡単でした。また、イタリア人の親友と2度ほど、ビアポンパーティーを大々的に企画しました。Facebookでページを作り参加者を募り、わずか3時間で定員の32名に達してしまったときには驚きでしたが、留学中にみんなでワイワイ楽しくできたのは、本当に自分から動いていたからだと思いました。最後に一つ、Happyという曲に合わせたmovieを作りたかったのですが、時間がなくなかなかえられなかったことが少し残念でした。

自学自習

留学中は、今までにないくらい自分の時間があると思います。友達と遊ぶといっても、さすがに四六時中というわけにはいかないの、自分に向き合える時間があります。その時間を何に使うかというのは、かなり重要だと思います。僕の場合は、ランニングと読書と、プログラミング学習にあてました。プログラミングに関しては全くの素人でしたが、せっかく時間があり、もともと興味があったのでこれを機に勉強してみると、意外と楽しく、帰国後の就職活動でもアピールするポイントの一つになりました。自学自習を邪魔されることなく、たっぷり時間がとれるので、英語だけでなく、何か+α身につけることを目標にすることをお勧めします。

⑥ 留学費用

収入

- ・ 奨学金は月額8万円いただいていた。
- ・ 今までの自分の貯蓄
- ・ 親からの支援

支出

・ 渡航費

片道 6万円程度

・ 住居費

大学寮 月額 407ユーロ

アパート 月額 450ユーロ

* 僕は大学寮申請が遅れ取れなかったため、アパートに住みました。

・ 生活費(食費、交通費など)

節約すれば 月額 300ユーロ

普通に暮らすと 月額 500ユーロくらい

⑦ 留学先での住居

大学寮があります。早めの申請をおすすめします。すぐ埋まってしまうかも。

取れなかったら、アパートを地元で探す、かなり厳しい状況でした！

⑧ 留学先での語学状況

英語とオランダ語の授業が開講されているが、基本留学生はみんな英語で授業

英語のレベルはそれほど高くなく、かなり聞き取りやすかった。

TOEFL 84点であったが、英語でそこまで大きく苦勞することはなかった。

ただ、友達のドイツ人などのかなり早い英語は最初は聞き取りづらかった。

⑨ 単位認定、在学期間

卒業にあと2単位必要であったために、単位交換を行った。いまその結果待ちであるが、おそらく単位交換可能である。

⑩ 就職活動

大学3年の夏にサマーインターンにも行っていたために、そこで内定をいただくことができていたため、大きくは焦らなかった。

留学中もスカイプを通して、企業の人に話を聞いたり、面接に取り組んでいた。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

まずは、大学寮が取れなかったことが致命的でした。やはり、現地で家を探すのはかなり不安も多かったのですが、まずは大学寮を早めに予約することを強く勧めます。

あと、やはり散髪にも困りました。ぜひ、自分でカットできるようなグッズ(すきバサミ)などを持っていくことをお勧めします。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学は本当に良い経験だと思います。

大学生活の中で一番、きつく、自由で、かつ楽しく濃密だったのは留学期間でした。

行くまでの苦労は確かにありますが、全部終わってみるとTOEFLとかちよろかったなーと思えるくらい、充実したものを得られました。ぜひ、諦めずにチャレンジしてみてください。決意さえ決めてしまえば、あとのことはどうとでもなります。行けない理由を並べるのではなく、留学に行く努力に今すぐにでも取り掛かってください。

迷ったらいつでも、連絡ください。留学の相談お待ちしております。

Facebook などでもメッセージくれればいつでも返信できます。

<https://www.facebook.com/kohei.arai.5>







